

木曾岬干拓地整備事業(第2期) 環境影響評価準備書 説明会

木曾岬干拓地整備事業(第2期)
環境影響評価準備書のあらまし



令和5年8月
三重県

令和5年7月
三重県

本日の説明内容

1. 木曾岬干拓地整備事業の概要
2. 環境影響評価手続きの概要
3. 環境影響評価の項目
4. 環境影響評価の結果
5. 事後調査の実施計画
6. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

1. 木曾岬干拓地整備事業の概要

2. 環境影響評価手続きの概要

3. 環境影響評価の項目

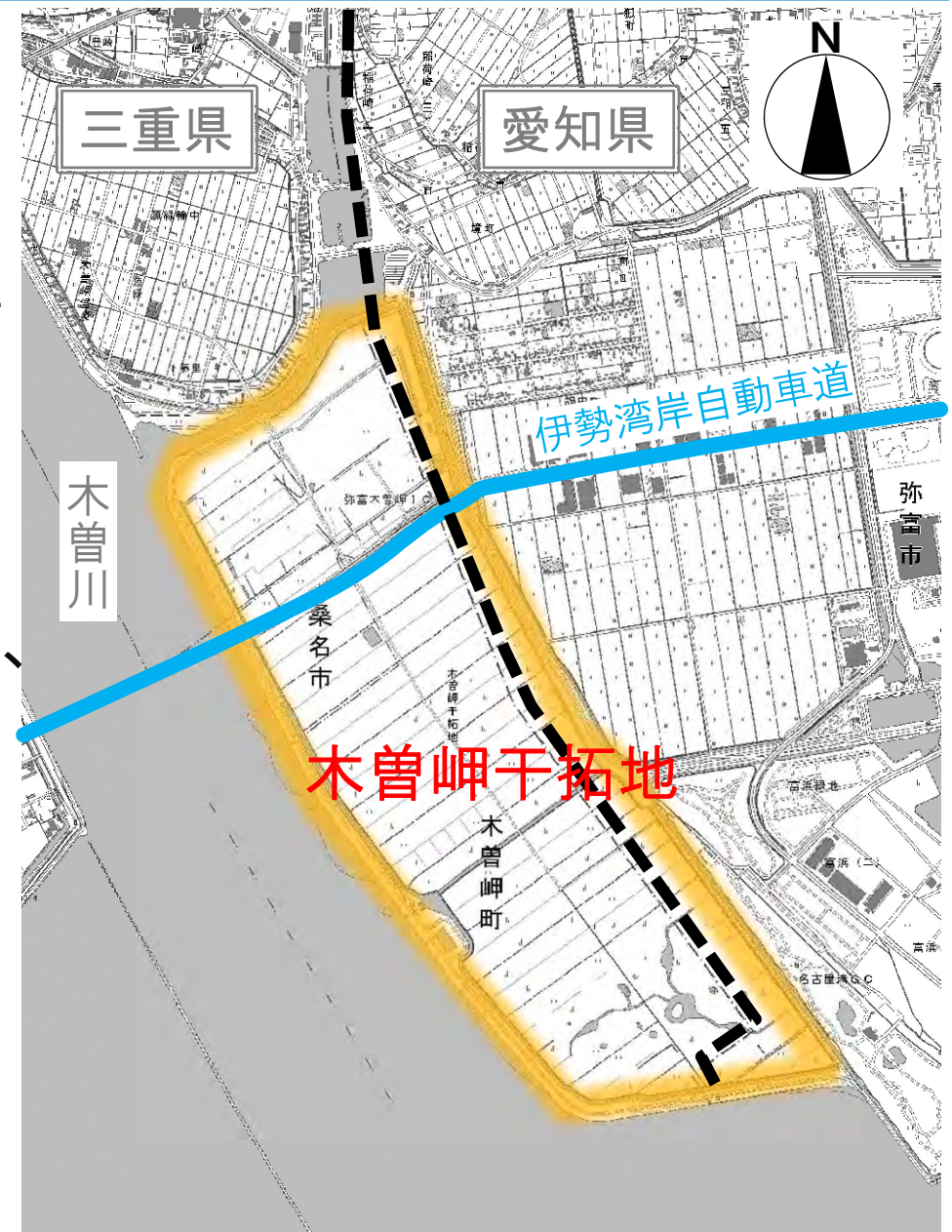
4. 環境影響評価の結果

5. 事後調査の実施計画

6. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

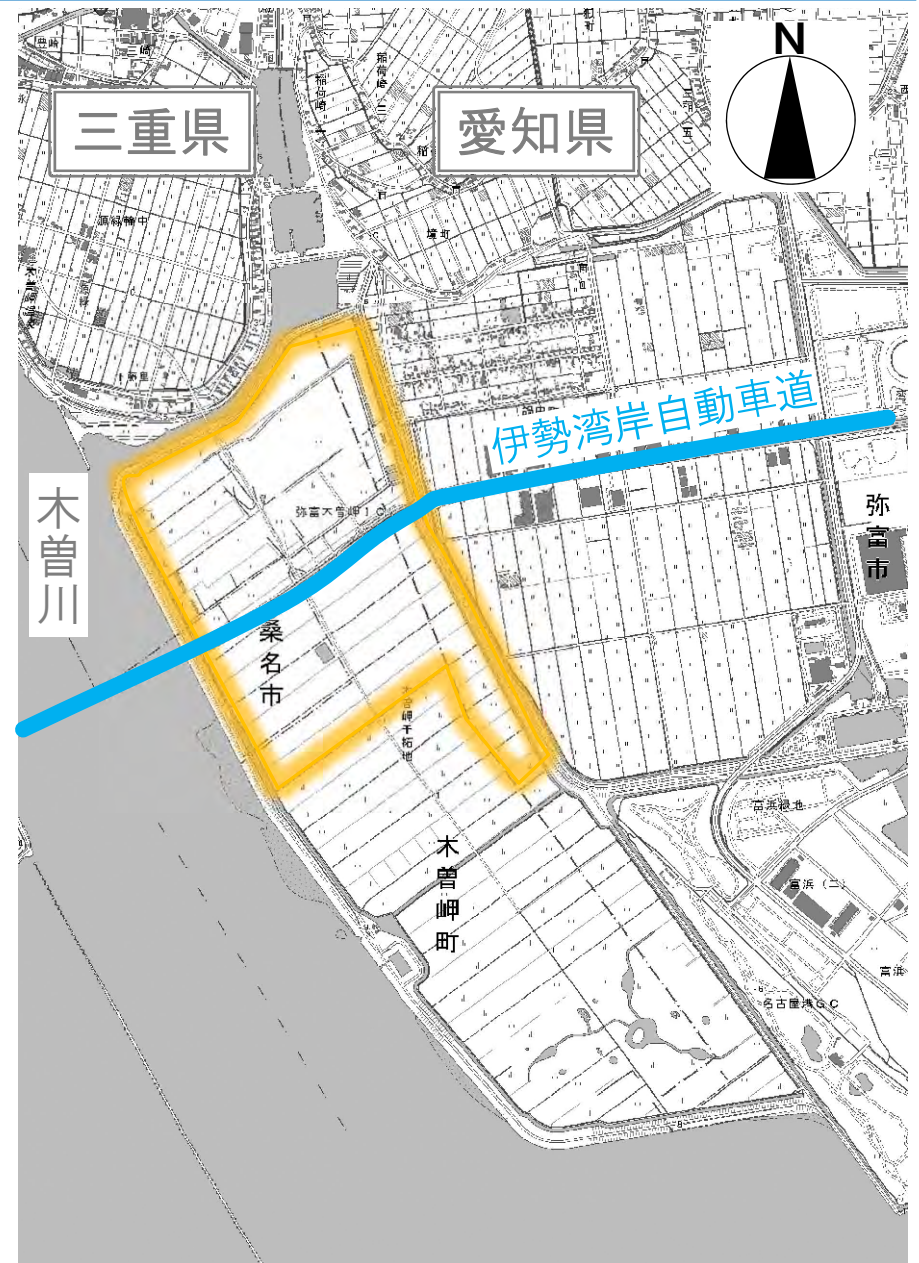
木曾岬干拓地整備事業の経緯

- 昭和41年度に、
農業干拓として事業着手
- 現在は、
都市的土地利用に転換し、
木曾岬干拓地の有効利用
を進めています。



木曾岬干拓地北部における環境影響評価

- 平成17年度に、
木曾岬干拓地北部の
環境影響評価を実施。
- 平成18年度以降、
建設発生土ストックヤード
やわんぱく原っぱとして
供用を開始しました。

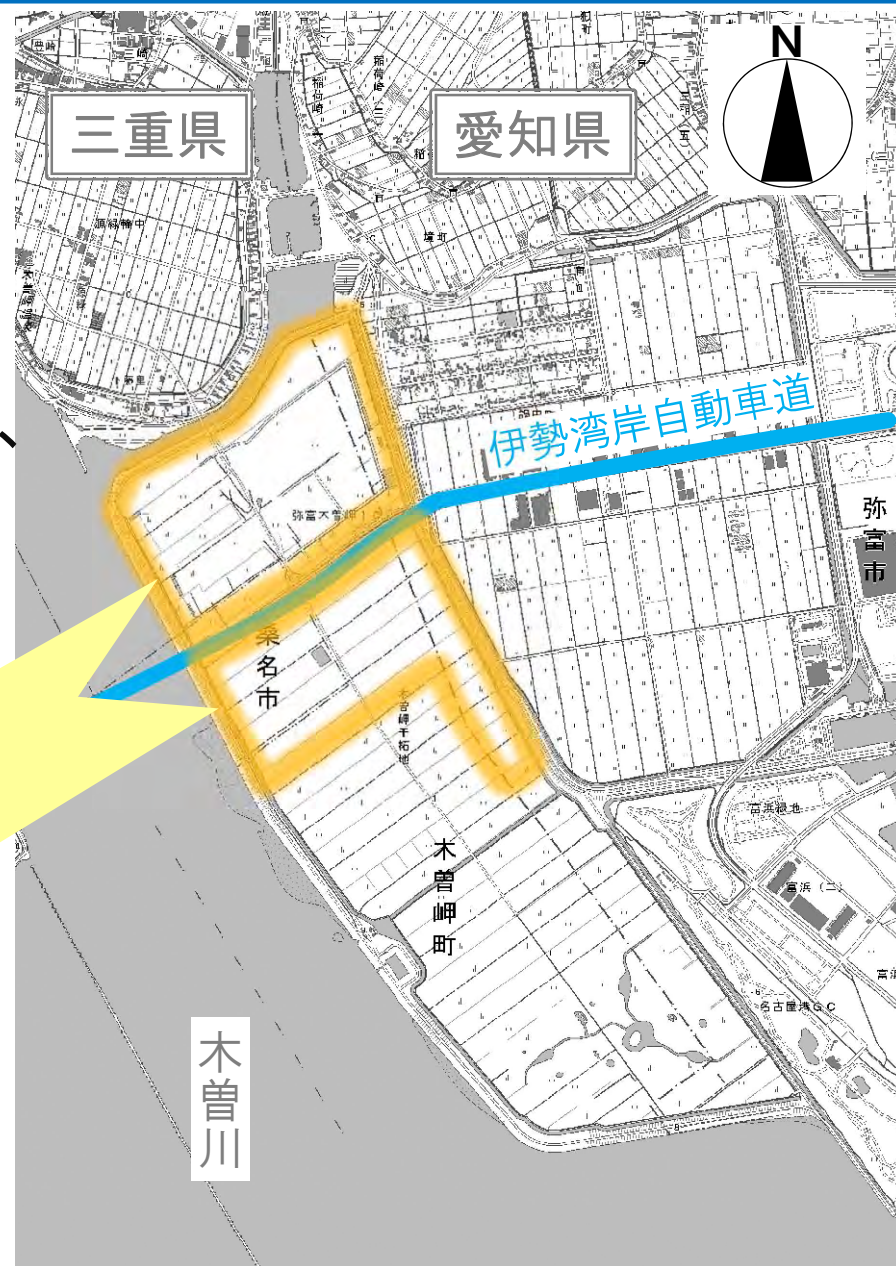


木曾岬干拓地北部の現況

- 現在、
木曾岬干拓地北部は、
木曾岬新輪工業団地
メガソーラー発電所として、
供用・分譲しています。

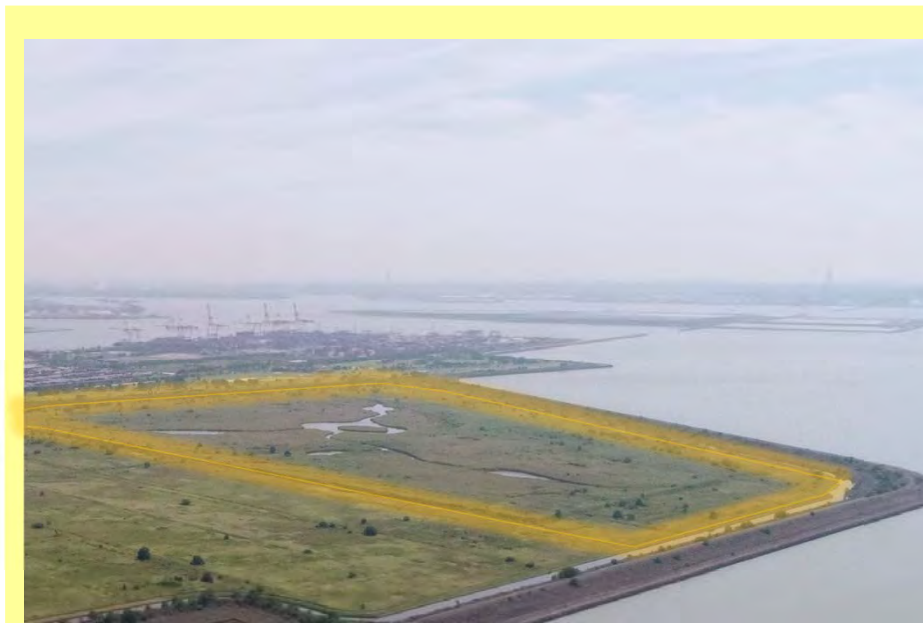


木曾岬干拓地メガソーラー発電所

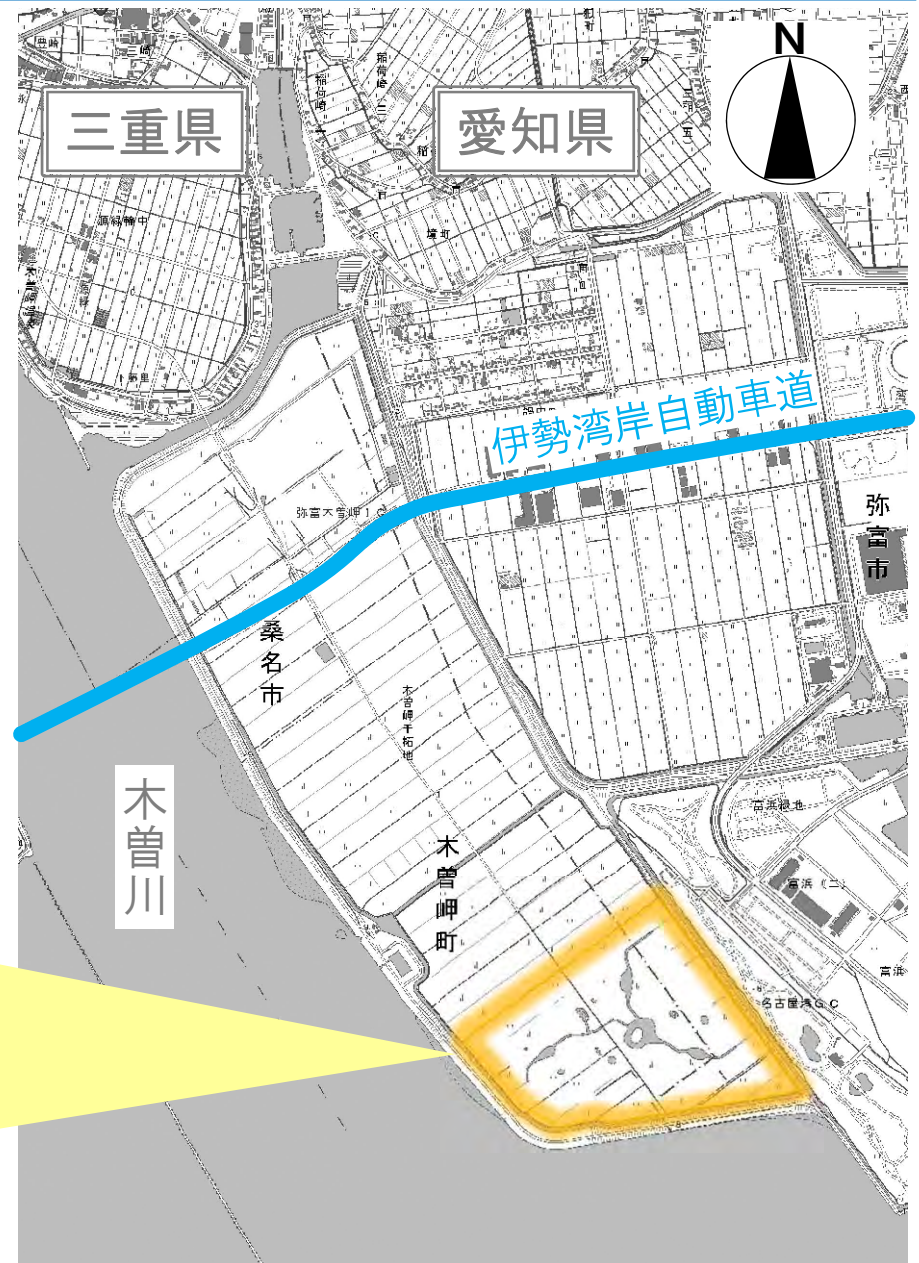


木曾岬干拓地南端部の現況

- 木曾岬干拓地南端部は、動植物のための保全区として供用しています。

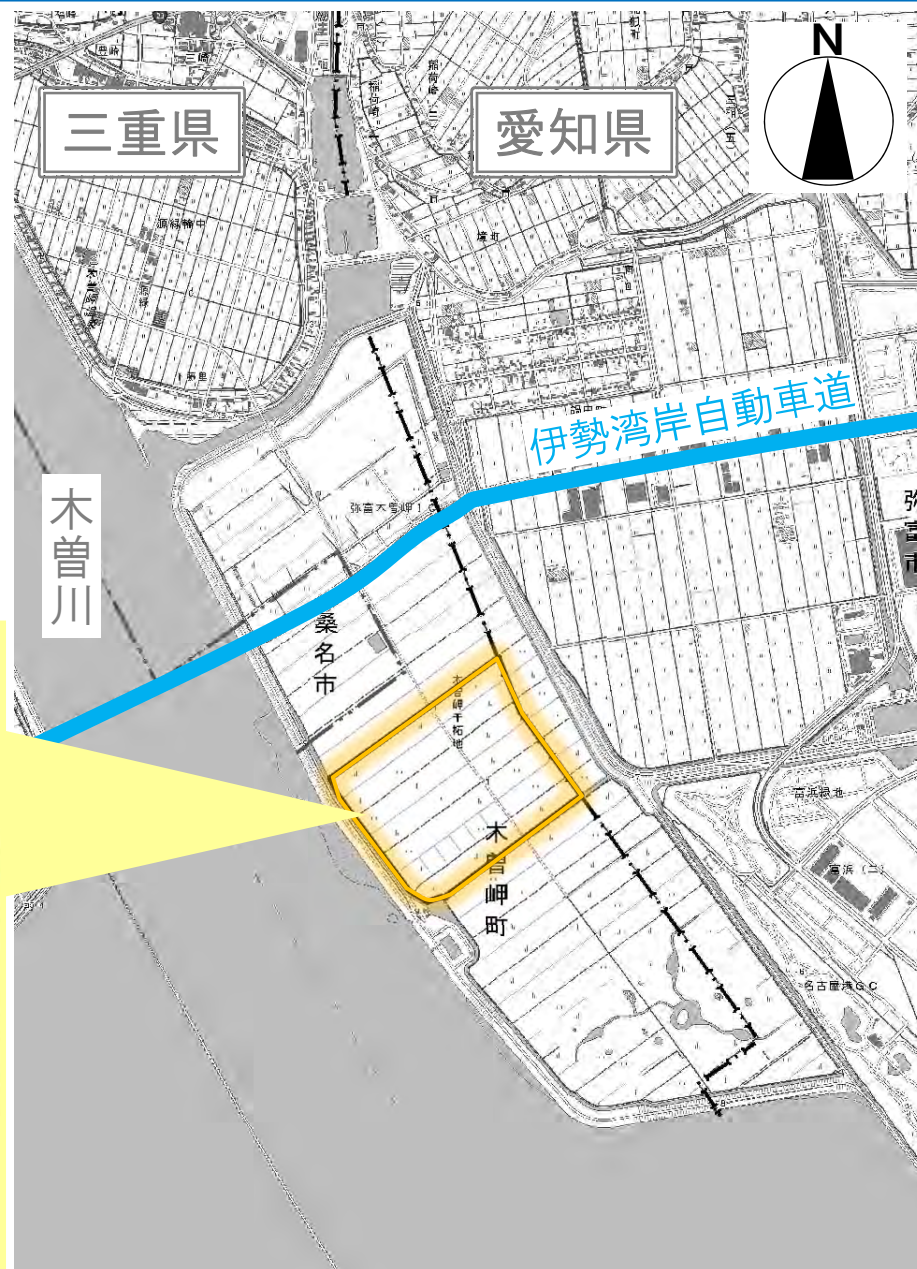


保全区



木曾岬干拓地整備事業（第2期）の概要

- 木曾岬干拓地整備事業（第2期）では、建設発生土の有効活用を図るため、建設発生土ストックヤードを整備します。

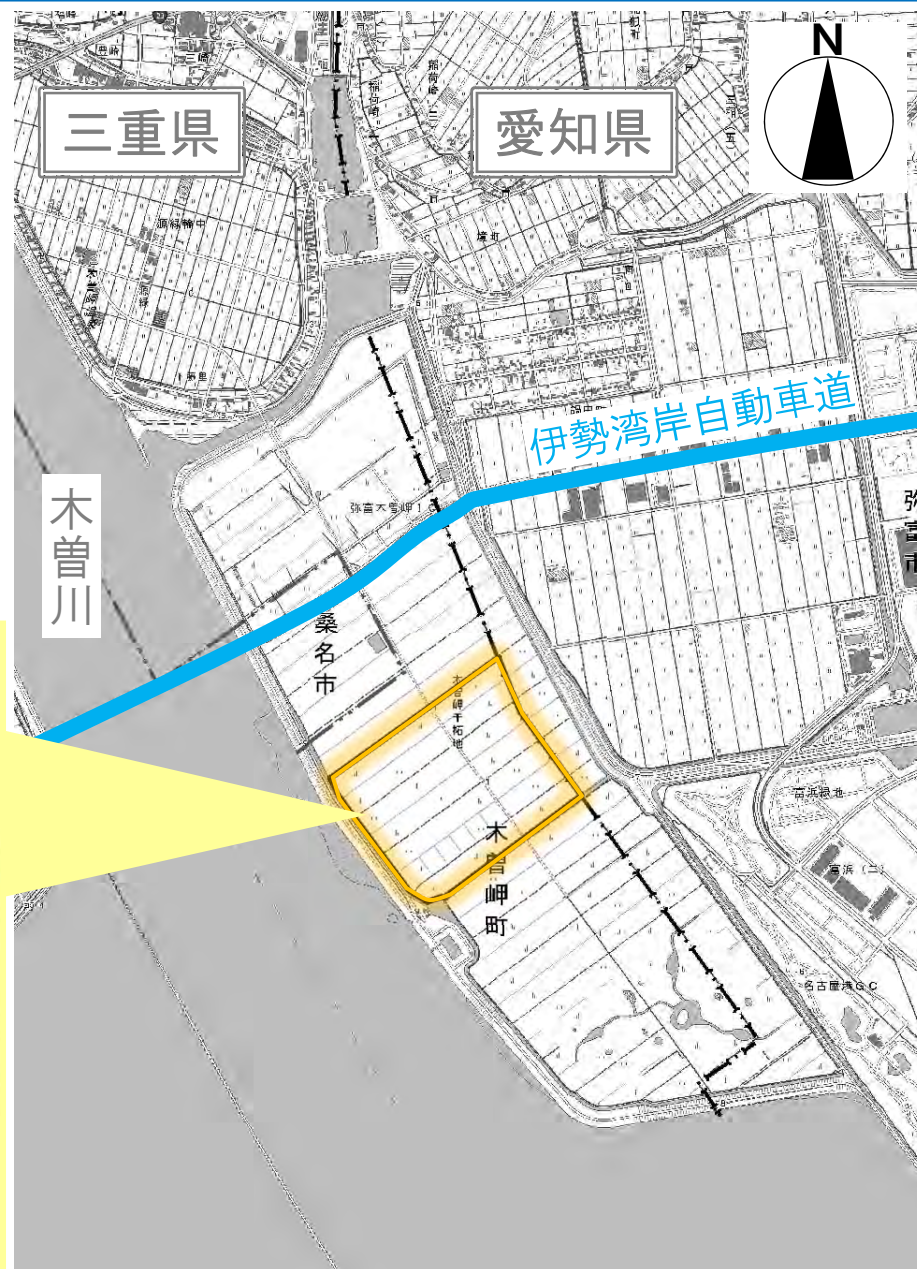


木曾岬干拓地整備事業（第2期）の概要

➤ ストックヤードは、

- ・ 面積 : 66.4ha
- ・ 最大盛土高 : 5.0m
- ・ 盛土勾配 : 1 : 3
- ・ 盛土量 : 376万 m^3

を計画しています。



工事中の状況

工事中

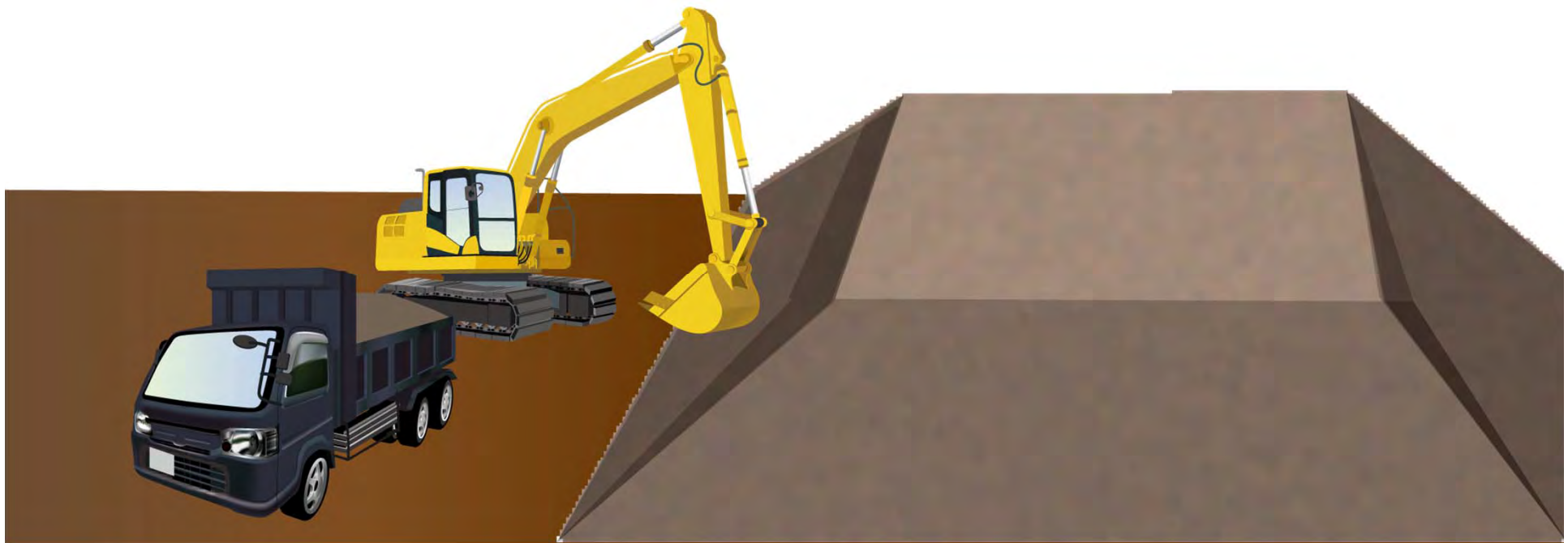
木曾岬干拓地に生育する樹木の伐採や土地の造成等を行います。



供用後の状況

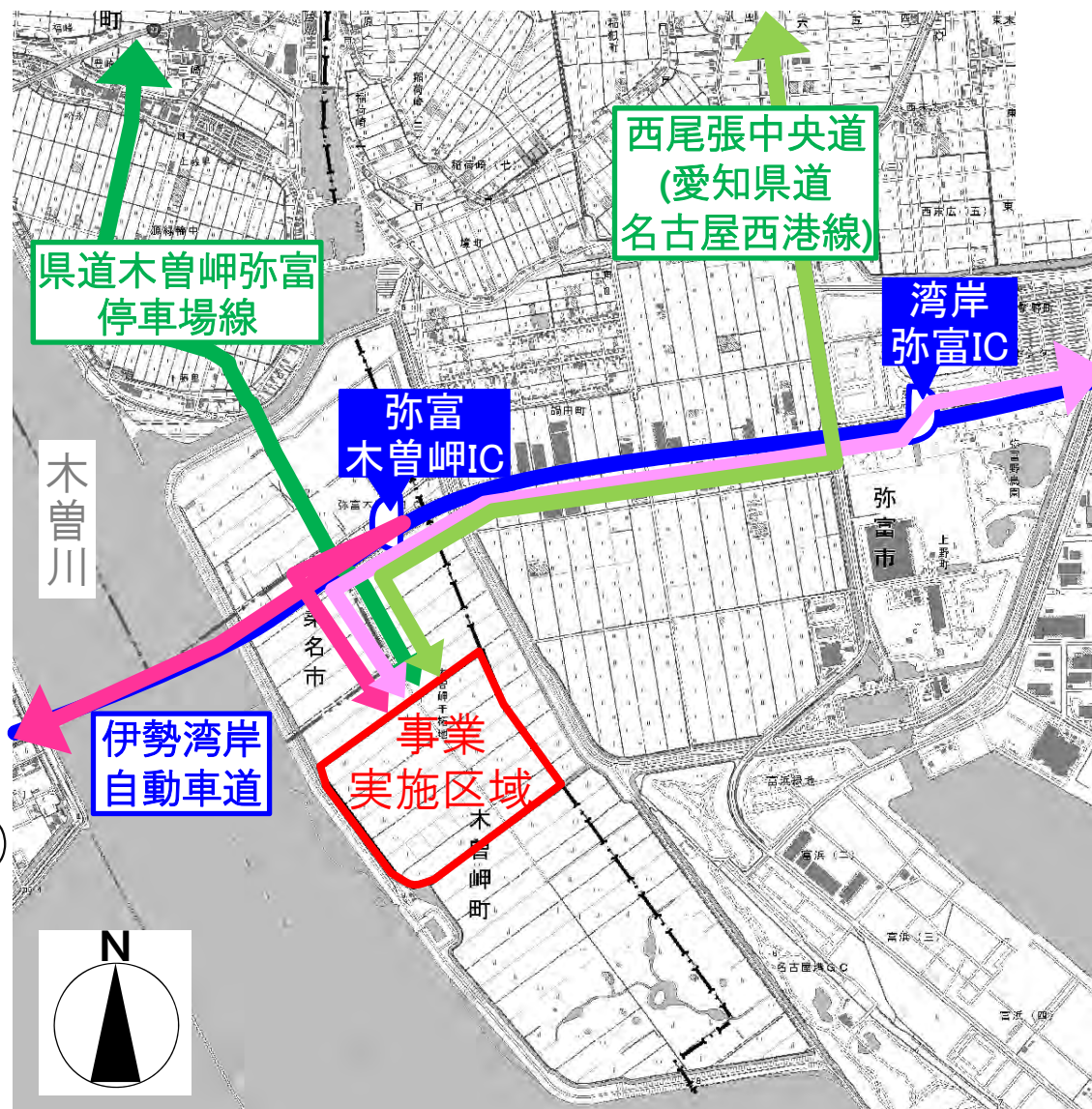
供用後

建設発生土ストックヤードとして供用を開始し、最大盛土高さは、5.0mを予定しています。



工事車両等の運行ルート

- 県道木曾岬弥富
停車場線を利用する
ルート
- 西尾張中央道
を利用するルート
- 伊勢湾岸自動車
(弥富木曾岬IC・湾岸弥富IC)
を利用するルート



1. 木曾岬干拓地整備事業の概要

2. 環境影響評価手続きの概要

3. 環境影響評価の項目

4. 環境影響評価の結果

5. 事後調査の実施計画

6. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

環境影響評価とは

事業が環境にどのような影響を及ぼすかについて、調査・予測・評価を行い、地域住民の方々、地方公共団体等から意見を聞き、環境の保全の観点から、よりよい事業計画を作り上げていこう という制度。

方法書

どのような項目についてどのような手法で調査・予測・評価をしていくのかを示したものです。

準備書

調査・予測・評価、環境保全措置の検討の結果を示し、環境の保全に関する考え方をとりまとめたものです。

現在は
この段階
です

評価書

準備書に対する意見を踏まえ、必要に応じて、準備書の内容を見直すものです。

1. 木曾岬干拓地整備事業の概要

2. 環境影響評価手続きの概要

3. 環境影響評価の項目

4. 環境影響評価の結果

5. 事後調査の実施計画

6. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

環境影響評価の項目

環境要素		影響要因	工事の実施 (工事中)	土地又は工作物の 存在及び供用 (供用時)
大気質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質		●	●
	粉じん等		●	●
騒音			●	●
振動			●	●
水質	水の濁り		●	●
地形及び地質	土地の安定性			●
陸生動物			●	●
陸生植物			●	●
水生生物			●	●
生態系			●	●
景観				●
廃棄物等			●	
温室効果ガス等			●	●

1. 木曾岬干拓地整備事業の概要

2. 環境影響評価手続きの概要

3. 環境影響評価の項目

4. 環境影響評価の結果





5. 事後調査の実施計画

6. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

大気質

(二酸化窒素・浮遊粒子状物質)

大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）

影響要因 環境要素	工事中		供用時	
	重機の稼働 	工事用車両の運行 (資材の運搬) 	重機の稼働 (土地の利用) 	発生車両の運行 
二酸化窒素 浮遊粒子状物質	○	○	○	○

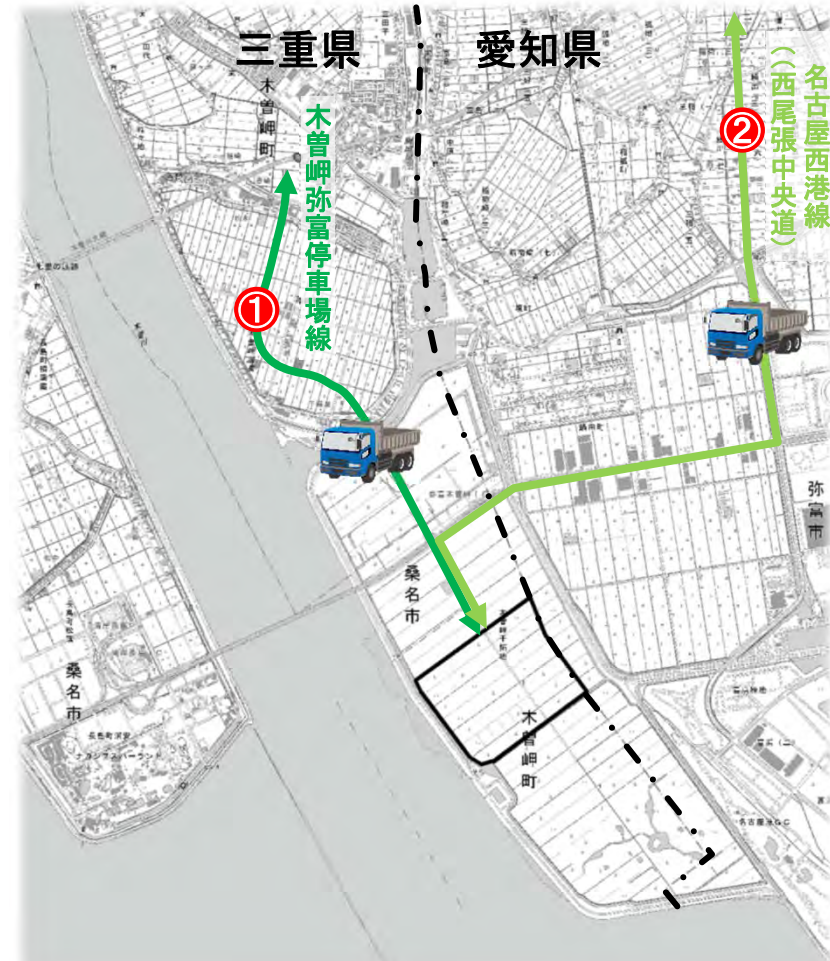
大気質・騒音・振動

■ 予測地点

重機の稼働



工事用車両・発生車両の運行



大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）

重機の稼働



■ 予測結果

予測地点	二酸化窒素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	
	日平均値の年間98%値		日平均値の年間2%除外値	
	重機の稼働 (工事中)	重機の稼働 (供用時)	重機の稼働 (工事中)	重機の稼働 (供用時)
①木曾岬町新輪1丁目	0.0199	0.0201	0.0389	0.0390
②弥富市曙1丁目	0.0200	0.0206	0.0389	0.0390
基準又は目標 【環境基準】	1時間値の1日平均値が 0.04ppm~0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下		1時間値の1日平均値が 0.10mg/m ³ 以下	

⇒ 環境基準を満足

■ 環境保全措置

- ・ 排出ガス対策型の建設機械の採用

大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）

工事用車両・発生車両の運行



■ 予測結果

予測地点	二酸化窒素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	
	日平均値の年間98%値		日平均値の年間2%除外値	
	資材の運搬 (工事中)	発生車両 (供用時)	資材の運搬 (工事中)	発生車両 (供用時)
①木曾岬町源緑輪中	0.0199	0.0199~ 0.0200	0.0389	0.0389
②弥富市操出6丁目	0.0207~ 0.0211	0.0208~ 0.0211	0.0390	0.0390
基準又は目標 【環境基準】	1時間値の1日平均値が 0.04~0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下		1時間値の1日平均値が 0.10mg/m ³ 以下	





⇒ 環境基準を満足

■ 環境保全措置

- ・ 工事用車両や発生車両の分散
- ・ 作業者に対する工事用車両や発生車両の運行の指導

大気質
(粉じん等)

大気質（粉じん等）

影響要因 環境要素	工事中		供用時	
	重機の稼働 （土地の造成） 	工事用車両 の運行 （資材の運搬） 	重機の稼働 （土地の利用） 	発生車両 の運行 
粉じん等	○	○	○	○

大気質（粉じん等）



■ 予測結果

重機の稼働

工事中	予測地点	季節別降下ばいじん量 (t/km ² /月)				参考となる値
		春	夏	秋	冬	
①木曾岬町新輪1丁目	①木曾岬町新輪1丁目	0.64	1.42	0.66	0.20	10
	②弥富市曙1丁目	1.60	2.12	1.49	0.80	

供用時	予測地点	季節別降下ばいじん量 (t/km ² /月)				参考となる値
		春	夏	秋	冬	
①木曾岬町新輪1丁目	①木曾岬町新輪1丁目	6.48	6.48	6.48	6.48	10
	②弥富市曙1丁目	6.48	6.48	6.48	6.48	

⇒ 参考となる値を満足

■ 環境保全措置

- ・ 工事中およびストックヤード供用時における散水

大気質（粉じん等）



■ 予測結果

工事用車両・発生車両の運行

工事中	予測地点	季節別降下ばいじん量(t/km ² /月)				参考となる値
		春	夏	秋	冬	
①木曾岬町源緑輪中	①木曾岬町源緑輪中	0.01~0.04	0.02	0.01~0.04	0.01~0.04	10
	②弥富市操出6丁目	0.01~0.02	0.01~0.02	0.01~0.02	0.01	

供用時	予測地点	季節別降下ばいじん量(t/km ² /月)				参考となる値
		春	夏	秋	冬	
①木曾岬町源緑輪中	①木曾岬町源緑輪中	0.43~2.20	0.94~1.52	1.50~2.43	0.37~2.31	10
	②弥富市操出6丁目	0.32~1.01	0.39~1.04	0.45~1.01	0.48~0.85	




⇒ 参考となる値を満足

■ 環境保全措置

- ・ タイヤ等の洗浄
- ・ 工事用車両や発生車両の分散

騷 音

騒音

影響要因 環境要素	工事中		供用時	
		重機の稼働 	工事用車両の運行 (資材の運搬) 	重機の稼働 (土地の利用) 
騒音	○	○	○	○

騒音



■ 予測結果

重機の稼働

予測地点	騒音レベル (dB) (L_{A5} 又は $L_{A, Fmax, 5}$)		基準又は目標 【規制基準】 (dB)
	重機の稼働 (工事中)	重機の稼働 (供用時)	
①木曾岬町新輪1丁目	59	69	85
②弥富市曙1丁目	69	75	

⇒ 規制基準を満足

■ 環境保全措置

- ・ 低騒音型建設機械の採用

騒音



■ 予測結果

工事用車両・発生車両の運行

予測地点	騒音レベル (dB) (L_{A5} 又は $L_{A, Fmax, 5}$)			基準又は 目標 【環境基準】 (dB)
	現況値	資材の運搬 (工事中)	発生車両の運行 (供用時)	
①木曾岬町源緑輪中	63	63	65	70
②弥富市操出6丁目	70	70	70	





⇒ 環境基準を満足

■ 環境保全措置

- ・ 工事用車両や発生車両の分散
- ・ 作業者に対する工事用車両や発生車両の運行の指導

振 動

振 動

影響要因 環境要素	工事中		供用時	
	重機の稼働 	工事用車両 の運行 (資材の運搬) 	重機の稼働 (土地の利用) 	発生車両 の走行 
振 動	○	○	○	○

振 動



■ 予測結果

重機の稼働

予測地点	振動レベル (dB) (L_{10})		基準又は目標 【規制基準】 (dB)
	重機の稼働 (工事中)	重機の稼働 (土地の供用)	
①木曾岬町新輪1丁目	16	40	75
②弥富市曙1丁目	38	48	

⇒ 規制基準を満足

■ 環境保全措置

- ・ 作業者に対する重機の取り扱いの指導

振 動



■ 予測結果

工事用車両・発生車両の運行

予測地点	振動レベル (dB) (L_{10})			基準又は 目標 【規制基準】 (dB)
	現況値	資材の運搬 (工事中)	発生車両の運行 (土地の供用)	
①木曾岬町源緑輪中	40	40	41~42	70
②弥富市操出6丁目	49	49	49	

⇒ 規制基準を満足



■ 環境保全措置

- ・ 工事用車両や発生車両の分散
- ・ 作業者に対する工事用車両や発生車両の運行の指導

水質

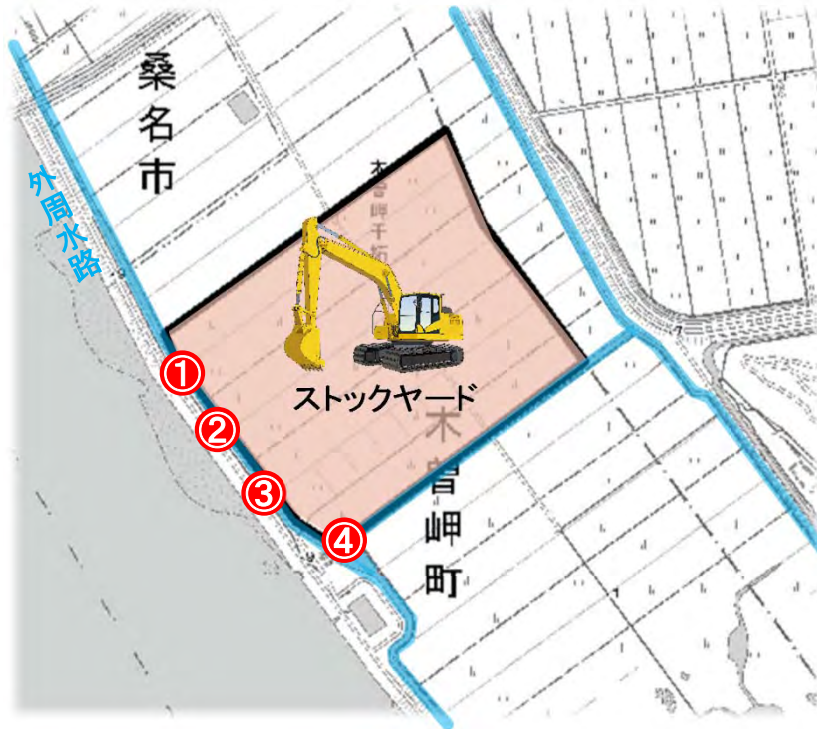
(水の濁り)

水質（水の濁り）

	工事中	供用時
影響要因 環境要素	土地の造成 	造成地の存在 土地の利用 
水質 （水の濁り）	○	○

水質（水の濁り）

■ 予測地点



■ 予測結果

予測地点	浮遊物質質量 (mg/L)		参考となる値 (mg/L)
	工事中	供用時	
①	14.7	10.1	35
②	14.5	33.0	
③	14.5	33.0	
④	14.6	24.1	60

※参考となる値：現地調査結果の最大値

■ 環境保全措置

- ・ 沈砂池の設置
- ・ 転圧の実施（供用時）

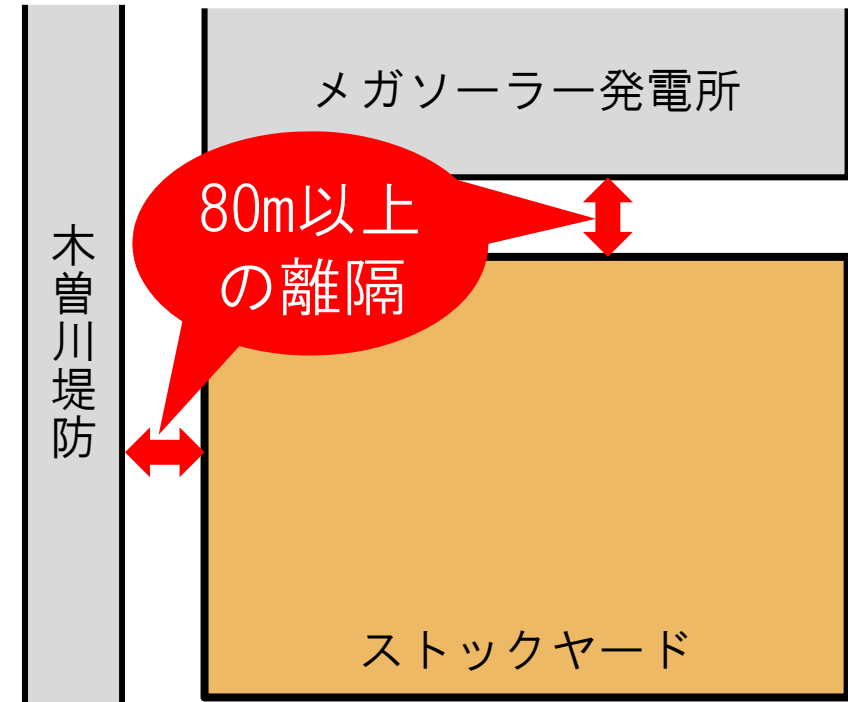
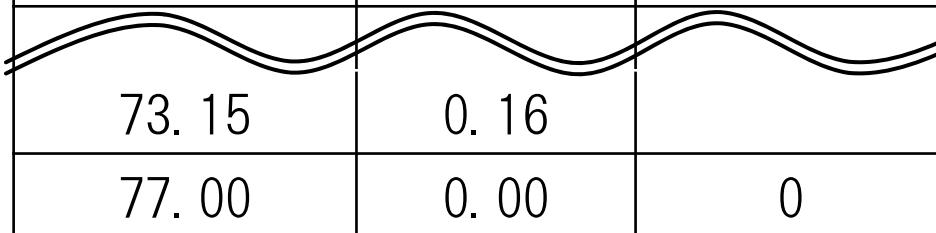
⇒ 参考となる値を満足

地形及び地質 (土地の安定性)

地形及び地質（土地の安定性）

■ 予測結果（側方流動）

盛土法尻からの距離 (m)	沈下量 (m)	側方変位量 (m)
0.00	0.00	9.44
3.85	2.44	9.36
73.15	0.16	
77.00	0.00	0



■ 予測結果（すべり破壊）

予測結果(安全率)
1.64

■ 環境保全措置

- ・ 盛土高さの遵守
- ・ 安定性に配慮した盛土
- ・ 適切な土質管理
- ・ 転圧の実施

⇒ 土地の安定性への影響は極めて小さい

陸生動物
陸生植物
水生生物
生態系

陸生動物①

分類群	確認種数	重要な種等	
哺乳類	10種	1種	カヤネズミ
鳥類	85種	21種	カワアイサ、チュウサギ、ミサゴ、チュウヒ、オオタカ、コチョウゲンボウ、ハヤブサ、キビタキ等
爬虫類	7種	0種	確認なし
両生類	4種	1種	トノサマガエル
陸上昆虫類	688種	7種	コオイムシ、ハイイロボクトウ、コガタガムシ等
クモ類	122種	6種	オニグモ、コガネグモ等
陸産貝類	19種	1種	オオウエキビ
土壌動物	138種	0種	確認なし

⇒ ほとんどの種については、
影響はない 又は 極めて小さい

陸生動物②

■ チュウヒ・オオタカ

⇒ 環境保全措置を検討



環境保全措置	チュウヒ	オオタカ
低騒音型建設機械の採用	○	○
工事従事者への講習・指導	○	○
コンディショニング（馴化）	○	○
営巣環境・採餌環境の整備 （保全区の整備）	○	
営巣木の移動促進		○

陸生植物

項目	確認種数	重要な種等	
植物相	474種	8種	コガマ、ミコシガヤ、マツカサススキ、ナルコビエ、タコノアシ、カワヂシャ、ミゾコウジュ、カワラハハコ
植物群落	26群落等	<ul style="list-style-type: none">・ セイタカアワダチソウ群落・ ヨシ群落・ オギ群落・ チガヤ群落・ クズ群落・ ヌルデアカメガシワ群落・ ウバメガシ群落・ クロマツ群落・ ナンキンハゼ群落 等	

⇒ 影響はない

水生生物

分類群	確認種数	重要な種等	
魚類	32種	5種	ニホンウナギ、サツキマス、ヒモハゼ、アシシロハゼ、エドハゼ
底生動物	102種	10種	サザナミツボ、エドガワミズゴマツボ、ヌカルミクチキレガイ、ウネナシトマヤガイ、ヤマトシジミ、ユウシオガイ、ソトオリガイ、オオノガイ、クシケマスオガイ、ヒメケフサイソガニ
水生植物	3種	1種	ツツイトモ

⇒ 影響は極めて小さい

生態系



干拓地の生態系

<注目種等>

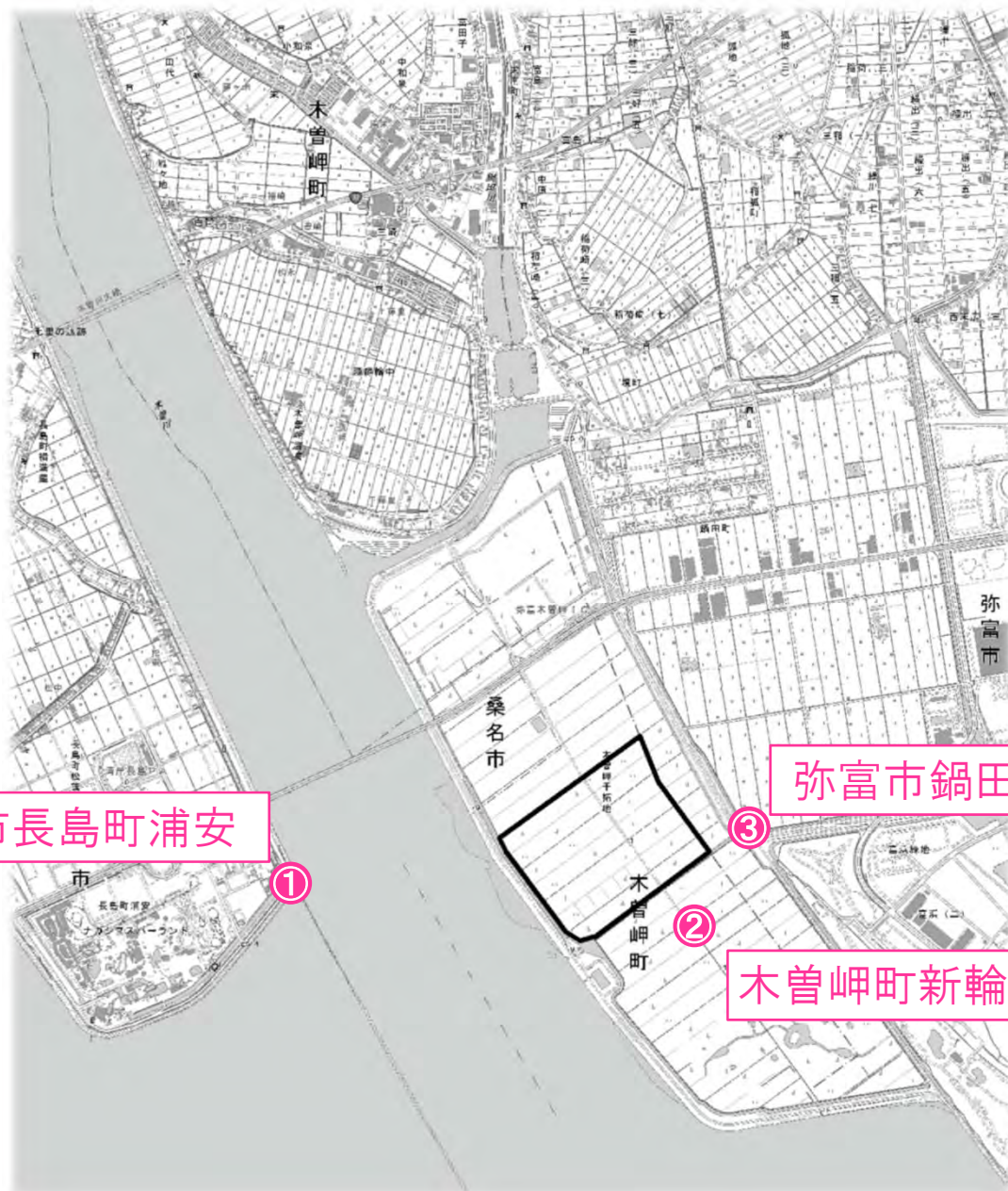


ヨシ等の湿生草本群落

⇒ 環境保全措置を検討

景 観

景観①



桑名市長島町浦安

①

木曾岬町
新輪2丁目

②

弥富市鍋田六野

③

景観②

■ 予測結果（桑名市長島町浦安）

< 現況 >



< 完成後 >

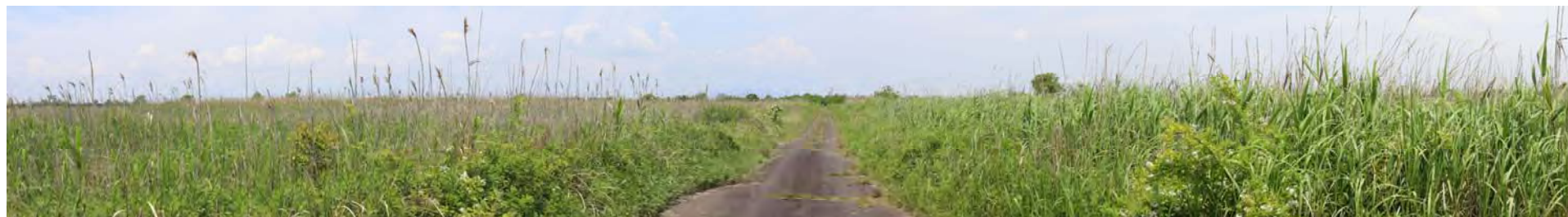


⇒ 眺望景観の変化は生じない

景観③

■ 予測結果（木曾岬町新輪2丁目：木曾岬干拓地内）

<現況>



<完成後>



⇒ 眺望景観の変化は極めて小さい

景観④

■ 予測結果（弥富市鍋田町六野）

< 現況 >



< 完成後 >



⇒ 眺望景観の変化は極めて小さい

廃棄物等

廃棄物等

■ 予測結果

種 類		発生量	事業実施区域外 搬出量
建設発生土	予測量(千m ³)	発生しない	—
建設汚泥	予測量(千m ³)	発生しない	—
コンクリート塊	予測量(千m ³)	発生しない	—
アスファルト・コンクリート塊	予測量(千m ³)	発生しない	—
建設発生木材(伐採木)	予測量(千m ³)	0.2	0.2
刈草	予測量(t)	655.9	655.9

■ 環境保全措置

再資源化施設への搬入等による他事業等での利用

温室効果ガス等

温室効果ガス等

■ 予測結果

工種等			CO ₂ 排出量 (t CO ₂)	
工事中	重機の稼働	整地工	214.40	226.68
	資材の運搬		12.28	
土地の供用	土地の利用	盛土工	3216.11	3,257.99
	発生車両の運行		41.88	

■ 環境保全措置

作業者に対する「重機の省エネ運転の指導」や
「工事用車両及び発生車両のエコドライブの指導」

事後調査の実施計画

■ チュウヒ及びオオタカ

項 目		調査項目	調査内容
環境要素	影響要因		
陸生動物	工事の実施	チュウヒ及び オオタカの モニタリング調査	○調査時期 工事期間中
生態系			○調査範囲 事業実施区域及びその周辺
陸生動物	土地又は工作物 の存在及び供用		○調査方法 定点観察調査による生息 ・繁殖状況の確認
生態系			○調査時期 供用期間中（毎年）
			○調査範囲 事業実施区域及びその周辺
			○調査方法 定点観察調査による生息 ・繁殖状況の確認

総合評価

**対象事業に係る環境の保全について、
適正な配慮がなされていると評価します。**



1. 木曾岬干拓地整備事業の概要

2. 環境影響評価手続きの概要

3. 環境影響評価の項目

4. 環境影響評価の結果

5. 環境影響評価準備書の縦覧・意見書の受付

環境影響評価準備書の縦覧について

◆縦覧期間

令和5年9月4日（月）まで

◆縦覧場所

三重県地域連携・交通部水資源・地域プロジェクト課

三重県桑名地域防災総合事務所地域調整防災室

木曾岬町役場総務政策課

桑名市役所市民環境部環境対策課

弥富市役所市民生活部環境課

※三重県ホームページにおいても公表

環境影響評価準備書への意見について

◆提出期間

令和5年9月4日（月）まで

◆提出先

三重県地域連携・交通部水資源・地域プロジェクト課

◆提出方法

持参, 郵送(当日消印有効), 電子メール(shigen@pref.mie.lg.jp)

◆記載事項

- ・ 氏名（法人その他の団体は、その名称及び代表者の氏名）
- ・ 住所（法人その他の団体は、主たる事務所の所在地）
- ・ 対象となる環境影響評価準備書の名称
- ・ 環境の保全の見地からの意見（意見の理由を含む）

※意見は日本語にて記載してください。

ご清聴ありがとうございました。

